

令和5年度 第4回
運営推進会議
介護・医療連携推進会議

議事録

日時：令和6年3月27日(水) 15:30～17:00

場所：オンライン開催

1. 開会のあいさつ

2. 【看護小規模多機能施設 のぞみ】

『活動状況報告』 添付資料参照

《包括より》

活動の様子が写真で見れるので状況がわかりやすい。事故・ヒヤリは件数があり心配ではあるが、改善策を確実に実施していただき件数が減ってくれば良いと思う。

3. 【グループホーム のぞみ】

『活動状況報告』 添付資料参照

《薬局より》：事故①について

薬局：これは事故なのか？その日に受診しなかったのが「判断ミス」で事故になるのか？

⇒ゆい：医療機関にかかると骨折の有無にかかわらず事故報告となる。

医師：転倒したことが問題なのか、本人が痛みを訴えなかったため様子を見たという判断がミスなのか、何がミスなのかわからない。夜間のマンパワーが無い中で一つ一つ拾っていたら誰もやる人がいなくなってしまう。以前、長野で看護助手が食事介助中に喉を詰まらせ有罪になった件もそうだが、何をもって事故というのか、はっきりしておかないと介護側が悪いように捉えられてしまう。今回の改定をみても訪問介護の報酬はマイナス改定になっているのに、在宅で見るといって矛盾している。介護側がいつも弱くできないことはできないと声を上げたほうが良い。介護側から声が聞こえてこない。

4. 【小規模多機能施設 めぐみ】

『活動状況報告』 添付資料参照

《民生委員より》：4月のオープンガーデンにお邪魔したいと思います。

5. 【グループホーム めぐみ】

『活動状況報告』 添付資料参照

《家族より》：施設ではいろいろな事故があるのは仕方ないと思うが万全を期してほしい。
（奥様が）横になっている時間が多いためできるだけ外出の機会を持ってほしい。

《医師より》：（コロナ発生報告について）：5類になってから法的な対応は必要なくなっている。高齢者で悪化するケースはあまり見られない。普通のインフルエンザと同じ対応でいいと思うが、2類の頃を引きずってナーバスになっているのではないか。誰一人として入院する人が出なかったのがオミクロンになってから軽症になっている表れだと思う。今後そんな神経質になることはないと思う。

6. 【定期巡回 ゆい港北】

『活動状況報告』 添付資料参照

《薬局より》：薬の管理について疑問があれば気軽に問い合わせしてほしい。

《訪問看護より》：100歳超えの独居の方に関わっていただき助かっている。認知症も進んできているがうまく対処してくれている。

《包括より》：（外部評価について）「利用者等との情報及び意識の共有」で「連絡ルートに混乱が生じないように徹底する」とあったが、電話やメールなど様々な連絡手段があるため、利用者に合った連絡手段をとれるといい。

《包括より》：ヒヤリハットなど小さな事例についてももしっかり検討していて、スタッフが利用者一人ひとりについてたくさん議論できているのかなと思う。

7. 【事例紹介】地域密着型サービスにおいてのお看取りについて

《歯科医より》：人生の終末期にサポートしてくれる方々の連携は大事だと思う。

認知症や家族がいない人についての終末期はどうしているのか？

⇒ご本人をよく理解している主治医や多職種で考えを決めていっている。

《医師より》：今のホスピスは昔と違い鎮痛や鎮静など状態が安定したら出されてしまい在宅に戻ってしまい最期を迎える場所ではなくなっている。有料老人ホームで訪問看護と訪問介護を併設する事業所が増えてきて日吉でも8月にオープンするが（医心館）、入居料金を安く設定して自己負担の上限がある医療のほうでお金を取るというビジネスモデルになっている。今後はこのようなビジネスモデルが増えてくるのではないかな。